

ティーンのための『経済学入門』

-より良い未来をめざして、金融リテラシーを身につけよう!!-



一生お金に困らない！ 『13歳からの3000円投資生活』



投資は決して怖いものではなく、自分が望む未来を手に入れるための大きな武器であると筆者は提案しています。2022年4月から、高校の授業でも投資教育がスタートしました。お金が全てではないけれど、お金について学ぶことは重要です。高校からでは遅い!? 「経済学的に考える」基礎を学ぶのは、中学生から始めよう!

横山光昭/著 アスコム

高校生の諸君! 「お金」の授業は楽しいかな? 投資は、まだ先のことと思ってないかな? 諸君にはこれから永い人生が待っている。今から、金融リテラシーを身につけておいて損はないぞ! どう資産を作り、どう使うか、生き方はそれぞれ、君次第じゃよ。

『アメリカの高校生が学んでいる経済の教室』



高校生から投資を学ぶ時代。では、投資の先進国アメリカの高校生はどんな授業を受けているのかな? って、知りたくなりますね。この本は、実際にアメリカの高校で経済学を教えている著者の書いた本です。アメリカの高校では、投資教育ではなくて、経済学を学んでいるって凄いですね。投資に対する認識の違いに驚かされます。

デーヴィッド・A・メイヤー/著 SBクリエイティブ

『会計が動かす世界の歴史』

なぜ「文学」より先に「簿記」が生まれたのか



シャーロックホームズの金銭感覚は? フランス革命の引き金は会計報告? 歴史上の様々な出来事を、お金や会計の視点から読み説くと、意外な発見が一杯だ。未来のお金はどうなるのか、歴史を学ぶことで未来も見えてくる! ?

ルートポート/著 KADOKAWA

『行動経済学ってそういうことだったのか!』



「経済学」初心者にも非常にわかりやすい行動経済学入門書です。競馬や宝くじ、野球などのエピソードから行動経済学の基礎を学んでいきます。知らず知らずのうちに自分自身の消費行動を見直すきっかけにもなります。明日、損をしないためのアイデアが満載です。

太宰北斗/著 ワニブックス